

「今年の雪速報会 2008 - 09」

主催団体： N P O 法人水環境技術研究会、(社) 日本雪氷学会北信越支部

(独) 防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター

趣旨：長岡で開催するこの催しも五回目になります。この催しはその年の雪まだ消えやらぬ春先の季節、それでも長い冬の終わりが見えたと思しほっと一息つく 4 月に、過ぎ去ろうとしている冬の雪を省み、また来年の冬はどうなるかの思いを胸に、情報を早く得ることが出来る満足感を求めて集まるものです。

過去 5 年間、大雪の年も小雪のときもありました。大雪の年は多数の雪崩や交通障害の多発などの苦しい思い、小雪の年には日常の暮らしは楽であっても、夏の水の心配、経済への影響などを思い、雪はやっぱり雪国の生活に深く係っていることを思い知らされます。そして、雪はいったいどうなるのだろうか、地球温暖化で本当に少なくなるのだろうか、それを知りたい情報のひとつです。

2008-09 冬季も小雪でした。どんな雪害があったのだろうか。小雪年はこれからも続くのだろうか。答えは簡単でないかもしれませんが。でもそういう情報を求め合い語り合う、つまりは雪国の未来を語る会として今年も企画しました。

日時：2009 年 4 月 13 日 (月) 13:30 ~ 17:00 (受付開始 13:10)

場所：アトリウム長岡 (長岡市弓町 1-5-1 Tel. 0258-30-1250)

参加費：(資料代) 500 円

プログラム

13:30 開会の挨拶

13:30-13:50 「2008-09 山の雪はどうだったか」

山口 悟 ((独) 防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター)

13:50-14:10 「融雪係数と近年の雪」

小南 靖弘 ((独) 農業・食品産業技術総合研究機構 北陸研究センター)

14:10-14:20 討議

14:20-14:30 休憩

14:30-14:50 「暖冬少雪でも雪崩は発生する」 和泉 薫 (新潟大学 災害復興科学センター)

14:50-15:10 「小雪年 d も発生するスキー場雪崩」 町田 誠 (町田建設株)

15:10-15:30 「道路管理者の視点から今冬を振り返る」 相村 成一 (国土交通省 長岡国道事務所)

15:30-15:45 討論

15:45-16:00 休憩

—特別講演—

16:00-17:00 「豪雪と寡雪をもたらす気象状態」

二宮 洸三 (海洋研究開発機構 地球環境フロンティア研究センター)

17:00 閉会の挨拶

懇親会：“ さらに密度の高い情報が得られます！ ”

時間 17:30 ~ 19:30 会費 4,000 円

会場 船栄総本店 (長岡市坂之上町 1-3-21 Tel. 0258-39-1515)

「今年の雪速報会 2008 - 09」 参加申込書

参加申し込み

下記のいずれかへeメールかファックスで4月3日(金)迄にお申し込み下さい。

NPO 法人 水環境技術研究会 事務局 近藤（株式会社エコロジーサイエンス内）

TEL : 0258-39-4007 / FAX : 0258-39-4006

E-mail : mizukankyou@za.wakwak.com

所属先: _____

所属先住所：_____

代表者名: _____

TEL : _____

FAX : _____

E-mail : _____

ご出席いただける部分に丸印を付けてください。

[illegible]